

11.28 保険で良い歯科医療 の実現を求める国会内集会

主催：「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

日時：2013年11月28日 12:30～13:30

場所：参議院議員会館



11.28 保険で良い歯科医療 の実現を求める国会内集会

- 歯科医療費拡大や患者窓口負担軽減、保険給付拡大などを求めて開催。
- 集会には全国から医師、歯科医師、歯科技工、歯科衛生士などの医療従事者、市民ら130人超が参加。

■全国連絡会代表世話人の江原雅博氏(全日本民医連歯科部長)が挨拶。

■この間、全国連絡会が提起した窓口負担割合の軽減、保険のきく範囲の拡大の項目の請願署名が歯科署名で過去最高の323,638筆を集め、これまでつながりのなかった団体、個人から賛同が寄せられているなど、取り組みの広がりを紹介。

■続いて各地からの8人が報告。



■「歯科医療を良くする」千葉連絡会会長の松永悦子さんは今計画されている患者負担増により医療にかかれない人が増えおり、負担軽減で安心して受けられる医療制度を実現してほしいと訴え。



■2人の歯科衛生士さんからは、訪問した患者や生活保護を受けている患者さんが、本当に治療にかかりたくてもかかれずにいる状況について紹介された。



■大阪府歯科保険医協会の戸井逸美副理事長は「学校歯科治療調査」を報告。要治療児童の半数が受診していないという衝撃的な内容であったこと、子ども医療費助成拡充などの制度改善の必要性を訴えた。

■宮城県保険医協会の高橋征理事は東日本大震災2年後の被災会員アンケート結果について報告。補助金を申請した回答者の約半数が交付された額が再開にかかった費用に占める割合を「25%以下」と回答するなど、課題が明らかになったことや、被災者の医療費一部負担金免除を復活することが求められることなどが紹介された。

■東京の歯科技工士の小松さんが歯科技工士の置かれている厳しい状況を報告したあと、大分県保険医協会の後庵礼一理事が大分県内の全自治体で「保険で良い歯科医療の実現を求める」地方議会意見書が採択されたことを紹介した。



■保団連、東京歯科保険医協会の森元主税理事は、歯科会員アンケート結果について報告。52%が「収入が減った」、77.7%が70～74歳の窓口負担2割化は患者 減につながるなどと回答していることなどを紹介した。

■最後に保団連の宇佐美歯科代表が歯科診療報酬引き上げに全力をあげることをよびかけた。



- 集会には、共産党の小池晃、田村智子両参院議員が来賓挨拶。
- 自民党の石井みどり参院議員と社民党党首の吉田忠智参院議員からはメッセージが寄せられた。
- 当日は、10万筆余の署名を衆参国会議員に提出した。